

明日香壽川さんと考える

(朝市センター保育園保護者OB)

気候危機とエネルギー危機の現状と課題そして希望

第二弾企画

ドキュメンタリー映画「みちのく電記」上映と

明日香壽川さん、嶋原宏一郎さん

(東北大学特任教授・名誉教授)

(映画「みちのく電記」出演)

と気候危機とエネルギー危機を

語り合うつどい

参加費

(投げ銭方式)

定員 50 名

事前の申し込みをお願いします(先着順)

2026年6月21日

エネルギー・気候危機問題の専門家である明日香壽川さんといっしょに考える企画第2弾です。

今回は、11月のセミナーの際、フロアから環境問題と貧困について発言していただいた嶋原宏一郎さん出演のドキュメンタリー映画「みちのく電記」の上映、その後に明日香壽川さん、嶋原宏一郎さんを囲んで、ご参加のみなさんと思う存分語り合うつどいを企画しました。

たくさんの方のご来場お待ちしております。

講師

東北大学特任教授・名誉教授

明日香 壽川氏

Justen Asuka

主な著書

『グリーン・ニューディールー世界を動かすガバナリング・アジェンダ』(岩波新書 2021年)『脱「原発・温暖化」の経済学』(中央経済社 2018年共著)『クライメート・ジャスティスー温暖化対策と国際交渉の政治・経済・哲学』(日本評論社 2015年)『地球温暖化 ほぼすべての質問に答えます!』(岩波ブックレット 2009年)



トークゲスト

嶋原宏一郎氏

ドキュメンタリー映画「みちのく電記」出演
東北大学農学研究科在籍、農業経済学専攻/労働貧困問題、気候危機問題、グローバルサウスの環境破壊問題に取り組む

時間

13:30~16:30 開場 13:00

・13:30~15:00 映画「みちのく電記」上映
東北とグローバルサウスのエネルギー問題の実態に迫り、誰も取り残さない社会を目指すZ世代を追ったドキュメンタリー映画です。

・15:00~16:30 明日香壽川さん、映画出演の嶋原宏一郎さんを囲んでトーク

会場

朝市センター保育園

仙台市青葉区中央4-3-28 朝市ビル3階

主催 明日香壽川さんと気候危機問題を考える会

呼びかけ人 安達喜美子 竹田久 高橋重太 笠井一臨 安達康仁

朝市センター保育園で、保育運動、子育てにかかわってきたメンバーが呼びかけ人です。

お問合わせ・申し込み先 担当 安達 康仁 090-9037-1001

✉ skgck069@yahoo.co.jp



ドキュメンタリー映画

みちのく 電記

東北から世界へ、
ぼくらの未来をかけた
“電気をめぐる”旅

監督・制作・撮影・編集：岩崎祐 共同制作：ロジャー・スミス
出演：鳴原宏一朗
2024年/ドキュメンタリー/83分/16：9/カラー ©2024一粒舎



宮城の発電所めぐり × 原発事故の経験 グローバルサウスとのつながり × 仙台のエネルギー貧困対策

本作は、仙台を拠点に気候変動対策に取り組んできた若者、鳴原（しぎはら）宏一朗の活動の軌跡を伝える。小学生の時に福島・郡山で原発事故の影響を受けた彼は、仙台の大学に進学後、被災者への補償が打ち切られていく現実に疑問を抱き、エネルギーや貧困問題への関心を深めていった。やがて世界の若者たちの間に広がった気候運動に共鳴し、街頭で授業ストライキを始める。原発事故後、宮城県内では気候変動に拍車をかける石炭火力やバーム油発電、森林を破壊するメガソーラーなどの建設が相次いだ。鳴原は現場で研究者や住民の声に耳を傾ける中で、市民出資による地産地消のソーラー発電に希望を見出していく。

バングラデシュの同世代からのメッセージで、日本が海外で進める石炭火力事業の実態を知った鳴原は、国境を越えた運動に加わり、エジプトで開かれた国連気候変動対策会議 COP27 を訪れる。一方、日本国内では電気代が高騰し、鳴原は仙台の仲間と共にエネルギー貧困対策としての再生可能エネルギーへの転換を訴え、食料支援にも取り組む。日本の周縁としての「みちのく」と、多くの日本人にとって馴染みの薄いグローバルサウスという「未知の国」をめぐる鳴原の活動は、気候危機という地球規模の課題と、身近な生活の中にある切実な問題を結びつけていく。カメラは、一人の若者の成長と、彼と仲間たちが生み出す社会変化の兆しを映し出す。

みちのく
電記

監督・製作・撮影・編集：岩崎祐 共同製作・追加撮影：ロジャー・スミス

出演：鳴原宏一朗

2024年/ドキュメンタリー/83分/16:9/カラー ©2024一粒舎

michinokudenki.com

